

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	栗の実保育園（2回目受審）
経営主体(法人等)	社会福祉法人 博栄福祉会
対象サービス	児童分野 認可保育所
事業所住所等	〒252-0004 座間市東原1-6-30
設立年月日	昭和56年4月1日
評価実施期間	平成26年3月～26年9月
公表年月	平成27年3月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
<p>＜施設の概要・特徴＞</p> <p><b>【立地】</b>            栗の実保育園は相鉄線さがみ野駅から徒歩20分の相模野台地の南端に位置し、西に自然環境を残した緑豊かな座間市立芹澤公園に隣接するとともに、周囲は昔からの畑が次第に姿を変え幹線道路に沿って工場、会社、郊外型大型店舗が増えています。園は閑静な住宅地に囲まれています。至近の芹澤公園では、子どもたちが自然観察や散歩で四季折々の姿を楽しんでいます。</p> <p><b>【概要】</b>            昭和56年に設立され、以来33年の歴史を持ち地域に根差した保育園です。0～5歳児定員60名で在籍者は70名です。園舎は2階建てで1階部分は2、3歳児クラスで、2階は0、1歳児、4、5歳児クラスが使用しています            保育目標として、「心身ともに健やかな子ども」「心優しい感性豊かな子ども」「自らの力で物事を発見できる子ども」「元気に挨拶のできる子ども」を掲げています。</p> <p><b>【特徴】</b>            ①米や野菜づくりからクッキング保育など、一貫した食育保育を実施しています。            ②園バスを利用した充実した園外活動の実施をしています。            ③子どもたちが絵画や造形（陶芸・染め物）などの芸術活動を行っています。            ④全クラス合同参加の「朝の会」、0、1歳児同室保育、活動に応じ4、5歳児合同保育、3歳児以上縦割りクラスでの保育活動（「思いやり保育」）を行うなど日常的に異年齢がふれあう機会を多く持っています。</p> <p><b>【特にすぐれていると思われる点】</b>  <b>1 豊かな体験を子どもたちに</b>            園外保育として、園バスを利用し相模原市立博物館、都筑ブルーシア、横浜青少年センター、ヤクルト工場見学などに出かけています。昨年、インフルエンザで中止した泊りがけの雪体験なども、子どもたちはたのしみにしています。日頃の活動では、近隣の自然公園に出かけ、四季を感じながら体を十分動かしています。幼児は、縄跳びやマラソンは自分で考えて目標を決めチャレンジして、体力づくりが行われています。            これらによる豊富な体験と、遊びでも自ら考えることを通して、絵画や造形などでも、子どもた</p>	

ち自身が次々と新しいことを発見して成長してゆく姿が見られます。

## 2. 積極的な異年齢交流

保育の中での日常的な合同保育や、週3日の全クラスが参加する朝の会など、異年齢の交流が盛んに行われています。小さい友だちに配慮することが自然にできるようになり、1階から2階に1歳児が移動するときには、4、5歳児が手を引いて階段を上がって行きます。

## 3. 職員の資質向上と職員間の連携

### (1) 「保育推進向上委員会」

より良い保育について課題を見つけ、誰であっても、経験の浅い職員でも十分に発言できたり、実行に移すことができるように「保育推進向上委員会」を設置しています。リーダーは若手職員が務め、内部研修や勉強会の企画・実行を担っており、多くの気づきを得ています。

### (2) 「思いやりノート」「がっかりノート」の活用

日常の些細な事でも、職員同士感じたこと、気づいたことを書きとめています。「思いやりノート」には他職員に手助けしてもらってうれしかったことや助かったことへの感謝を、「がっかりノート」には、日課の中で不十分と思ったこと、反省点などを記録しています。職員同士の理解や連携強化に役立っています。

## 【さらに改善、工夫がのぞまれる点】

### 1 不審者対応について

不審者侵入を想定した訓練では、役割分担や合言葉を決めるなどした具体的な対策訓練が期待されます。

### 2. 保護者対応の再検討

園の保護者対応ではクラス懇談会で茶話会を設けて意見交換を行うなど、保護者との関係に配慮しています。しかし今回のアンケート結果では職員の対応面で「話やすい雰囲気や態度」「意見や要望への対応」などで、他の項目と比較して満足度（「満足」「どちらかといえば満足」の合計%）が高くありません。この様な面での保護者対応の再検討を期待します。

なお、その他のアンケートで「子どもが戸外遊びを十分にしているか」の問に、「どちらかといえば不満」「不満」等の合計が30%になっています。園での活動状況を保護者に正しくアピールすることもご検討下さい。

## 評価領域ごとの特記事項

### 1.人権の尊重

・保育の理念は「利用者、職員、地域社会がお互いに支え合い、共に歩む施設づくりを目指しながら、心優しい感性豊かな子どもを育てる」、方針は「共に育て、共に育ち、共に喜ぶ」となっており、子ども本人を尊重したものとなっています。

・全職員に配付されている「保育マニュアル」に、「職員の心得」「保育の心得」が記載されており、言葉遣いや態度についても確認しあっています。

・守秘義務の意義や目的について入職時に話をするほかに、職員会議などで話し合っています。

・個人情報取り扱いについては入園説明会、入園進級を祝う会で説明し、ホームページに掲載する子どもの写真や取材のあった場合の写真撮影・掲載については了解を得ています。

## 2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・保育課程をもとに年齢ごとの年間指導計画・月間指導計画・週案指導を作成し、子どもの要望も取り入れるなどして柔軟性を持たせています。
- ・保育室内は年齢、発達に應じ、伝い歩きやハイハイができるよう低い棚が用意されたり、保育活動により遊びのコーナー設置や可動式パーテーションで保育室の使い方を工夫しています。
- ・気になる子どもの保育計画は専門家の確認のもと保護者を交えて話し合いをしています。0～2歳児個別指導計画は保護者との日々の会話、連絡帳、個人面談の内容を尊重して作成しています。
- ・子ども一人一人が興味や関心を持って遊べるように職員は一緒に遊びに入りながら、それぞれの子どもの気を配り言葉かけをしています。
- ・職員は一人一人の体調や食べる量など把握して盛り付けの量を変えるなどし、苦手な物も少しでも食べてみようとする意欲を引き出すよう、声掛けをしたり、完食の喜びを感じられるよう配慮しています。4、5歳児クラスは自分で食べられる量を自分でよそって配膳しています。
- ・クラス懇談会として「茶話会」を年に2、3回開催しています。「茶話会」では栄養士手作りのパウンドケーキを出し、リラックスした雰囲気を作り、保護者同士も互いに子どもへの対応や、家庭での関わりについて、相談し合ったり、アドバイスしあうなどの機会となっています。
- ・園バスを利用し、相模原市立博物館、都筑ズーラシア、横浜青少年センター、ヤクルト工場見学などに出かけています。地域の保育園年長クラスで行われるドッジボール大会に参加しています。また近隣の3保育園間で練習試合をして交流を持っています。近隣の高齢者施設（学研ココファン）を年に4、5回訪問し、歌や合奏を披露したり、作品を一緒に作るなどしています。

## 3.サービスマネジメントシステムの確立

- ・入園時に慣らし保育の必要性を保護者に十分に説明し必要に応じて対応しています。保護者が安心できるように家庭との連携を図り、新入園児には連絡帳により、家庭と園生活の情報を相互に連絡しています。
- ・入園時に保護者から提出された「家庭調査票」をもとに「児童票」を作成し、入園後の身長・体重の記録と共に個々のファイルにまとめ、事務室の施錠できる棚に保管し、全職員が確認できるようにしています。
- ・配慮が必要な子ども・障がいのある子どもについては職員会議やケース会議で報告、検討が行われています。
- ・虐待防止マニュアルがあり、定義は全職員に周知されています。日常の保育の中で、子どもの心身の状態観察や保護者のようすに気を配っています。
- ・「保育運営マニュアル」「保育の心得」に保護者からの要望や苦情への対応が明記されています。入園時に配布している「園のご案内」にご意見・ご要望の解決の仕組みのフローチャートを記載し説明をしています。
- ・健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施しています。歯科衛生士の歯磨き指導は年3回行っています。結果は「健康診断記録」として「児童票」に綴じ

	<p>込んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震対策として用具入れ、棚、ロッカーはねじ止めやつっぱり棒を使用しています。保育室に子ども用、職員用のヘルメットを常置しています。</li> <li>・通信手段として複数台の業務用トランシーバーがあり、園外保育時などにも携帯し園事務所・複数の場所にいる職員と同時に連絡が取れるようになっています。また座間市防災ラジオが事務室にあり、随時各情報が入ってきます。</li> </ul>
<p><b>4.地域との交流・連携</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の老人施設と老幼交流の一環として七夕まつり、敬老の日、収穫祭の定期的な交流や、年に一度の地域の人々を対象に実施する陶芸教室開催を行っています。園行事に地域の方を招待しています。</li> <li>・園庭開放は週に1度行っています。園庭開放時や園見学来訪時に、育児への助言、友だちや母子関係について、相談を受けています。</li> <li>・一時保育を提供しています。登録者60名程度で、月に延べ人数で10～15人が利用しています。</li> </ul> <p>〃・地域の子育て支援情報誌「ざまっぴ」に園の情報が掲載されています。また年に一度の「保育フェスティバル」で「造形展」や「紙芝居」「園庭開放」を行っており、園内を公開しています。</p>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のホームページに子どもの様子や行事の内容など紹介し広範囲に閲覧できるようになっています。園のパンフレットや行事案内やちらしを地域の子育て支援センターに置いています。</li> <li>・保育運営マニュアル中「職員の心得」「保育の心得」に職員が守るべき法規・規範・倫理が明記されており全職員に配付されています。</li> <li>・理念や基本方針は各クラス内、廊下、事務所に掲示してあります。また毎朝のミーティングで全職員で唱和し確認しあっています。</li> <li>・保護者アンケートの実施、クラス懇談会、クラスの「茶話会」、保護者会役員との会合などから意見・要望の把握、話し合いや意見交換を行っています。</li> <li>・3年及び5年後の中期計画と、15年後の長期計画を策定しています。社会福祉法人に求められている説明責任やコンプライアンスの向上を常に図っています。</li> </ul>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生受け入れマニュアルがあり、事前の話し合いで実習目的・方法・要望など聞き、効果的な実習が行われるよう計画を立て、実習プログラムを作成しています。</li> <li>・人材育成計画として主任、中堅職員、新人職員と役職や経験年数に応じて、年間40以上の研修受講を用意しています。非常勤職員も参加可能です。年に2度面接を行い自己評価と園長によるアドバイスや話し合いが行われています。</li> <li>・年間指導計画・月案・週案・保育日誌にそれぞれ評価・反省の欄があります。子どもたちの育ちや意欲・取り組み過程を重視した記録を心がけ、園長・主任・副主任が記入上の書き方や視点を指導しています。</li> </ul>

- 保育運営マニュアルにおいて、それぞれの職務の分担が表になり期待水準が明記されています。
- 年2回以上の職員面談のほか職員アンケートを通して意見を募っています。経験や年齢にとらわれずに意見を述べ、意欲的に活動できるよう「保育推進向上委員会」を設け、話し合いや内部研修が行われています。

# 評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

## 評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="188 369 676 427">I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<p data-bbox="689 369 1391 629">・保育の理念は「利用者、職員、地域社会がお互いに支え合い、共に歩む施設づくりを目指しながら、心優しい感性豊かな子を育てる」、運営方針は「共に育て、共に育ち、共に喜ぶ」を掲げ、職員は「子どもの人格を尊重し子どもの利益を最優先にしているか、方針に沿っているか」を、日々の保育や計画の作成時に振り返り確認をしています。職員は入職時に運営理念・基本方針の説明を受け、年度初めの確認や、朝のミーティングで運営方針を唱和し、日々の保育で具現化に努力しています。</p> <p data-bbox="689 629 1391 864">・保育課程は子どもの最善の利益を守るため、成長過程に沿った保育計画を作成しており、保育の運営方針、園目標に従い、一時保育の実施など保護者や地域の環境を考慮して作成しています。作成には、園長、主任のもとに前年度の反省や非常勤職員の意見を取り入れて担任職員が作成し、職員会議で確認をしています。保護者に対しては、年度初めの入園・進級式で書面にして配布し、周知および理解を図っています。</p> <p data-bbox="689 864 1391 981">・子どもとの信頼関係を築いた上で個々に合った指導の仕方、言葉かけで様子、態度、表情から子どもの要望を取り入れ、保育課程に基づき、年間指導計画、月案、週案、個別育成記録と流れに沿って、指導計画を作成しています。</p>
<p data-bbox="188 1057 676 1115">I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<p data-bbox="689 1057 1391 1227">・担当職員は、新入園児の保護者との入園前の個人面談で子どもの生育歴や性格、家庭状況を聴取し、同時に子どもの観察を行い、結果を記録保管しています。面接時に把握された情報は児童票に記録され、保護者の不安や心配な点について、保育の中で子どもの状況を注意深く見守り、保護者へ報告しています。</p> <p data-bbox="689 1227 1391 1435">・入園時に慣らし保育の必要性を保護者に十分説明し対応しています。0、1歳児の担任は複数性で慣らし保育の間、子どもに自然になつた職員が主な担任となっています。子どもが安心して過ごせるよう慣れるまでタオル、毛布、玩具の持ち込みを認め、また、保護者が安心できる様に家庭との連携を密にし、連絡帳、口頭で、家庭と園生活の情報交換を行っています。</p> <p data-bbox="689 1435 1391 1552">・指導計画は週案、月間、年間と作成し、それぞれの終了時に評価・反省を記載しています。指導計画とその見直しは担任のほか園長、主任も確認して子どもの発達や状況を共有しています。</p> <p data-bbox="689 1552 1391 1639">・月間指導計画は子どもの日々の活動の様子、保護者との個人面談や送迎時の会話、連絡帳から得た情報を踏まえて作成しています。</p>

### I-3 快適な施設環境の確保



・園庭は東側に様々な容器で野菜や稲を栽培し、中央には大きな遊具を設置し、雑草もなく整然としています。園内外とも清掃チェック表に基づき担任が中心となって清潔が保たれています。各クラスとも南に向けて開口され、通風は良く、陽光を十分に取り入れ、空気清浄機や温湿度計の設置で快適な室内環境に配慮しています。午睡時はカーテンを閉め、オルゴールのCDで静かに音楽を流し、入眠環境作りをしています。

・沐浴設備は0・1歳児のクラスに隣接し、温水シャワーは1階子どもトイレにあり、おしりが汚れたとき、真夏の園外遊びで汗をかいたときに使用し、毎日担当職員がチェック表に基づき、清掃し清潔が保たれています。

・0・1歳児のクラスは伝い歩きができる高さの木製の柵と畳、カーペット、フローリングなどの床の変化で、幼児クラスは移動可能な手作り長椅子や伸縮自在な絵本などで、遊び、食事、寝る、を月齢に合わせて活用しています。

・2・3歳児のクラスが開閉可能な間仕切で自由に繋がりと、異年齢保育を行っています。週に3度の全園児集会和、月に1・2度、3～5歳児の異年齢保育「思いやり保育」が実施されています。

### I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



・3歳未満児の個別指導計画は毎月、月案をもとに、保護者との個人面談や送迎時の会話、連絡帳の記載内容を尊重して作成しています。障害の認定はありませんが気になる子どもについては、専門家の確認のもと保護者を交えて話し合いをし、特記すべき項目を児童票に記載しています。

・離乳食の切り替え時やトイレトレーニングの進み方についてなど保護者と密接な連携を取って進めています。

・保育所児童保育要録を東原小学校など該当小学校へ送付しています。

・子どもの成長発達記録には入園後の身体測定や内科・歯科健診の結果と、年度毎に全保護者に配布する家庭調査票や個人記録が記録され、全職員で共有しています。

<コメント・提言>

・大きな目標のもとに日々の保育をされていますが、個別計画の記録に同一文章が記載されているケースが見受けられました。一人一人の成長の差を考慮した書き方が望まれます。

**I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み**



・開園当初から配慮を要する子どもを受け入れ、問題発生や個別のケースについて会議を行い記録に残し、神奈川県LD協会「発達障害実践シリーズ」のDVDで園内研修し、神奈川県保育会の「障がい児保育研修」の受講後、資料や記録の閲覧で全職員が学習し、保育に活かしています。

・トイレやその周辺とベランダには、歩行や移動に支障がない合成樹脂素材や手すりの設置で安全に配慮しています。月に1回受診している子どもの保護者の報告や、臨床心理士の巡回指導で神奈川県総合療育センターや、座間市障害福祉課といつでも連携が取れる体制を取っています。要支援の子どもへは、日常的に他の子どもと一緒に交わるよう配慮し見守っています。

・子どもと家庭の虐待に関する100項目のチェック表に従って、虐待への初期対応から通告、援助に至る対応支援を行っています。登園時や更衣時に子どもの体や心の変化を注意深く観察し、必要な時は園長への報告から座間市児童相談所、座間市障害福祉課への連絡と素早い対応を図ることにしています。

・食物アレルギーについては保護者と栄養士が面談して、代替食を提供しています。日々朝ミーティングで栄養士はアレルギー対象者、代替食・除去食の有無を確認し、職員は保護者との事前確認、発症時の対応などアレルギー確認シートに記載し全職員は周知しています。

・両親共外国籍の子どもが在園しており、肌の色の違いや食習慣の違いをさらっと説明しています。本人も他の子どもとの遊びに影響はなく、在園児と分け隔てなく保育をおこなっています。言葉が伝わりにくい時は現物を見せたり、保護者への連絡帳は平仮名やローマ字を使用して時間をかけて子どもの負担にならない様配慮しています。

**評価分類**

**評価の理由（コメント）**

**I-6 苦情解決体制**





・保護者へ入園時に配布する園のご案内の「ご意見・ご要望の解決の仕組み」から、苦情があれば速やかに主任が対応し最終的に第三者委員へ苦情を申し立てできることを説明しています。意見箱の設置や、行事後アンケート、送迎時や連絡帳のやり取り、茶話会の実施で保護者から要望や苦情を聞く体制ができています。園内に福祉サービス運営適正委員会の苦情申立てに関するポスターが貼られ、必要に応じて誰でも目にして読むことができます。

・保育運営マニュアルと「保育の心得」に保護者から要望や苦情への対応が明記され、主任が迅速に対応し、全職員に会議を通して報告を行い周知します。内容は苦情受付対応記録にその都度記載しています。保護者が連絡ノートに書いてきた場合はコピーを取り、ファイルにまとめています。



## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児クラスでは畳、1歳児クラスではカーペットが敷かれています。発達の段階に応じてベビーベッド、ラックなども使用し、低い手すりのサークルや手作りの低い椅子につかまり立ちやお座りができるようにしてあります。</li> <li>・園庭にあるプランターで稲、ナス、トマト、季節の花などを栽培し水やりや成長を観察し、収穫した野菜は、給食に利用しています。園で熱帯魚（グッピー）、おたまじゃくし、ザリガニ、カブトムシなどを飼育観察しています。</li> <li>・子どもたちが散歩途中や公園で出会った近隣や地域の人たちに積極的に挨拶し、親しく話し合っただけ交流をしています。</li> <li>・リズム遊び、楽器遊び、造形・製作遊びを取り入れ、年齢に応じ自由に表現を楽しんでいます。季節の植物や行事にちなんだ絵や、自由に作った作品が各保育室や廊下、階段の壁に飾ってあります。4・5歳クラスでは鍵盤ハーモニカや太鼓を使い、運動会では鼓笛隊として披露しています。</li> <li>・子ども同士のけんかは危険がないように見守りながら、双方の話を聞き、低年齢児ではお互いの気持ちを代弁して理解が深まるようにし、幼児クラスでは相手の気持ちも理解して自分達で解決できるように援助しています。</li> <li>・散歩は天候、子どもの状況に合わせて週に1～2回程度、近隣の自然公園に出かけています。毎日園庭やペランダに出て外遊びをしています。紫外線対策としてはたれつき帽子を着用しています。夏場の園庭やプール遊びには遮光ネットを使用しています。虫刺され防止も兼ね、長袖着用の場合もあります。花粉量検査器が園庭にあり、飛散状況を確認できるようになっています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢保育では、「思いやり保育」として3～5歳を縦割り3つのグループに分けて、1年間を通し、園外保育の時や、作品製作、お店屋さんごっこなどの時に一緒に過ごし、互いを思いやる気持ちが育つよう活動しています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は一人一人の体調や食べる量など把握して盛り付けの量を変えるなどし、苦手な物も少しでも食べてみようとする意欲を引き出すよう、声掛けをしたり、完食の喜びを感じられるよう配慮しています。4、5歳クラスは自分で食べられる量を自分でよそって配膳しています。</li> <li>・食事は旬の食材を使っています。野菜を型ぬきにしたり、彩り、季節や行事に合わせた「おたのしみ給食」や、献立名の「三色どんぶり」を「好き好きどん」に変えるなど工夫しています。</li> <li>・給食の当日のメニューの写真を掲示板と園のホームページに掲載しています。人気メニューのレシピなどを掲示板に掲載したり、給食だよりに掲載しています。年に一度、「保育参観」の時に給食の紹介と試食（味見程度）をしてもらっています。</li> <li>・乳幼児突然死症候群について乳児クラスでは10分おきに寝ている姿勢や呼吸チェックをしています。2歳以上は職員が常に子どもの様子を見守り、うつぶせになった場合はすぐに体勢を変えています。保護者に対しても、クラス懇談会で乳幼児突然死症候群についての説明をしています。</li> <li>・トイレトレーニングは、排泄の間隔がある程度長くなり、意思表示もできるようになったタイミングに合わせて、保護者と密接な連携のもとに、個々に進めています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭での栽培・収穫後、皆で収穫を喜んだ後で、給食に利用しています。子どもたちは苦手な野菜でも食べられるようになってきています。</li> </ul>

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



「保育運営マニュアル」中の「安全保健計画」および「衛生管理マニュアル」に基づき、子どもの健康状態を把握しています。子どもの体調変化があった場合はすみやかに対応し、熱が平熱より1度高い場合を目安に保護者に電話連絡をしています。

- ・健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施しています。結果は「健康診断記録」としてファイルしています。毎月の身長体重計測結果も記録しています。
- ・歯科衛生士による歯磨き指導は年3回行っています。定期的な「歯みがき通信」発行や3歳以上の子どもに歯磨きを奨励し、関心を持ってもらうよう「歯みがき名人」賞状を渡しています。
- ・感染症対応マニュアルがあり「園のしおり」に感染症の症状や登園停止基準を明記し、入園前や懇談会で説明しています。保育中に発症または疑われる場合には、保護者に速やかに連絡しています。保護者のお迎えがあるまで、「一時保育室」で休ませ、他の子どもへの感染予防に努めています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



・衛生管理に関するマニュアルがあり、職員会議などで見直しを年1回程度行っています。マニュアルに沿い、毎日の清掃はチェックリストを利用して、園内外は清潔・適切な状態に保たれています。

- ・担当職員が清掃後、副主任・主任・園長が再チェックを行っています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]





・安全・事故対応マニュアルがあります。  
・持ち出し用緊急連絡先リストおよび医療機関、関係機関連絡先のリストがあり、それらは事務室電話横に常置してあります。



- ・子どものケガ対応は、小さなケガであっても保護者には担任が口頭及び連絡帳で必ず伝えていきます。保育日誌、事故報告書、インシデント報告書に記録しています。
- ・災害用備蓄品として飲料水・食料品・医薬品・発電機・ガソリン・トイレセットなど3日分は保管しています。
- ・複数台の業務用トランシーバがあり、園外保育時などにも携帯し園事務所・複数の場所にいる職員と同時に連絡が取れるようになっています。
- ・不審者情報については座間市から電子メールが来ます。また座間市防災ラジオが事務室にあり、随時情報が入ってきます。

<コメント・提言>



- ・不審者侵入を想定した訓練はされていますが、役割分担や合言葉を定めるなどした具体的な対策訓練が期待されます。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員に配付されている「保育マニュアル」に、「職員的心得」「保育的心得」が記載されており、言葉遣いや態度についても確認しあっています。園長・主任・副主任が保育に入った時に気が付いたことはその場で注意したり、対応を示したりしています。</li> <li>・幼児用トイレにはドアがついています。低年齢児クラスに隣接したトイレの出入り口に低い仕切りを使う場合もあります。おもらしの時などには、さりげなく対応しています。プライバシーを守る場として、一時保育室や職員休憩室を利用しています。</li> <li>・「保育運営マニュアル」に個人情報取り扱いガイドラインが定められており全職員に配付しています。保護者には個人情報取り扱いについて入園説明会、入園進級を祝う会で説明し、ホームページに掲載する子どもの写真や取材のあった場合の写真撮影・掲載については了解を得ています。園だより、クラスだよりには個人の話は掲載していません。</li> <li>・子どもたちの遊び、持ち物、行事の役割、服装、順番、グループ分けなどで男女の区別はしていません。無意識に性差の固定観念で保育をしていないかを職員会議で話し合ったり、主任・副主任がクラスに入った時に職員の言動について注意することもあります。</li> </ul>
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関、各クラスに理念、保育方針を掲示しています。毎月配付の園だよりに保育方針や目標を明記しています。</li> <li>・送迎時に保護者に子どもの様子を口頭で伝えるよう努めています。連絡帳は5歳児クラスまで全員が持っています。諸連絡や情報交換にモバイルメールを活用しています。</li> <li>・相談は個室（一時保育室）または、事務室に「入室禁止」の札を掛けて行っています。相談内容は記録し継続的にフォローできるようにしています。</li> <li>・園だよりは月1回、クラスだより・給食だよりは2か月に1回程度発行配付しています。行事やクラスごとの日常の様子写真やコメントは園ホームページ内で園の定めたパスワードを使用して保護者のみが閲覧できるページに載せています。保護者は自由に写真などをダウンロードしています。</li> <li>・保育参観を年1回、保育参加は年2回行っています。その他親子で染めものや陶芸作りをして、毎回親・祖父母も大勢参加し活気ある行事となっています。</li> <li>・開園時より、保護者会があり保護者会役員とは常にコミュニケーションをとり、意見交換をしています。夏祭りや運動会では保護者組織の積極的な協力を得ています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体懇談会とは別にクラスごとに「茶話会」を開き、リラックスした雰囲気の中で保護者同士もお互いに子どもへの対応や家庭での関わりについて、相談し合ったり、アドバイスしあうなどの機会となっています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に保護者に子どもの様子を伝えるように努めていますが、今回のアンケートでは、その項目に対して「不満」「どちらかといえば不満」の回答が22%ありました。努力の仕方、内容などを再検討されることを期待します。</li> </ul>

## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣の高齢者施設と老幼交流の一環として七夕まつり、敬老の日、収穫祭の定期的な交流や、年に一度の地域の人々を対象に実施する陶芸教室開催（20人程の参加）などでの参加者との会話の中で、施設への要望を聞く機会を設けています。</li> <li>・ 園庭開放は週に1度行っています。園庭開放時や園見学来訪時に、育児への助言、友だちや母子関係について、相談を受けています。</li> <li>・ 一時保育を行っています。登録者60名程度で、月に延べ人数で10～15人が利用しています。また地域ふれあい事業として、「おなか教室」を3～4人の参加で実施しました。</li> </ul>
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座間市の保育フェスティバルのお知らせを近隣のスーパーに掲示したり、配布して、地域へ情報提供をしています。また、園内の行事のお知らせをチラシやホームページで開示しています。近隣の人たちには、夏祭りや運動会の騒音への配慮を含めて、予め協力をお願いしています。</li> <li>・ 育児相談案内板を道路側のフェンスに常に貼り出し随時、園長、主任、副主任が対応しています。</li> <li>・ 関係機関、地域の団体の住所、電話番号の連絡先、担当者名を記載して事務所に置き、必要な時に職員が活用しています。</li> <li>・ 園職員が出席する神奈川県保育会や保育園園長会には座間市役所担当部署、児童相談所職員が出席しており継続的に連携を取ることができます。気になる子どもに対し、市の障害福祉課の臨床心理士が定期的に巡回しています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七夕、夏祭り、クリスマス会などの保育所の行事に、地域の方を招待しています。園庭開放・一時保育の他に座間市保育園フェスティバル週間にも施設開放をしています。</li> <li>・ 子どもたちは、散歩途中や行先の公園で接した人達に積極的に挨拶したり、話をしたりしています。消防署の見学時には、子ども用の消防服を着せてもらうこともあり、子どもたちは喜んでます。</li> <li>・ 保育園年長クラスで行われるドッジボール大会に参加しています。また近隣の3保育園間で練習試合をして交流を持っています。年に数回、年長クラスが小学校を訪問し2年生と交流する機会をもっています。近隣の高齢者施設（学研ココファン）を年に4～、5回訪問し、歌や合奏を披露したり、作品と一緒に作るなどしています。また中学生の職業体験を受け入れています。</li> </ul>
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園のホームページでは、園の様子や行事の内容などを紹介しています。園のパンフレットや行事案内・ちらしを地域の子育て支援センターに置いています。年に一度の「保育フェスティバル」で「造形展」や「紙芝居」「園庭開放」を行って園内を公開しています。</li> <li>・ 子育て支援情報誌「ごまっぷ」に園の情報が掲載されています。インターネット上で「WAM NET」のホームページや地域内の施設案内に園が紹介されています。</li> <li>・ 見学については、保育内容や様子を良く見てもらえるよう配慮し、曜日や時間は希望者の都合に対応しています。見学者専用パンフレットを基に副主任が丁寧に案内・説明しています。</li> </ul>


#### IV-3 実習・ボランティアの受け入れ





・ボランティア受け入れマニュアルがあり、受け入れに当たっては守秘義務順守について説明しています。事前に職員や保護者に説明するとともに、園だよりや掲示板に記載し知らせています。「サマーボランティア」として中・高・大学生を受け入れています。


・実習生受け入れマニュアルがあり、事前に話し合いの機会を設け、保育理念・方針・子どもや保護者への配慮、守秘義務を理解してもらうようにしています。事前の話し合いで実習目的・方法・要望など聞き、効果的な実習が行われるよう計画を立て、実習プログラムを作成しています。また受け入れにあたっては実習目的などを職員会議で全職員に周知しています。子どもたちにも話し保護者には園だより・掲示板で知らせています。毎年4～5校から数名ずつ実習生を受け入れています。



### 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<p>・人材構成について園長が11月頃職員一人一人に面談し意向調査を行い配置を考え、副園長が運営に必要な採用などの人事業務を行います。育成について主任、中堅職員、新人職員など役職や経験年数に応じて、理念・方針の実現に向けて、年間40以上の研修受講計画と受講派遣をしています。</p> <p>・職員一人一人と年に2度面接を行い、年間の目標と成果について自己評価と園長のアドバイスや話し合いが行われます。</p> <p>・副園長が研修計画担当となり、階層別の研修内容、個人的に関心のある内容などから、総体的に考え計画を作成しているほか、園内の「保育向上推進委員会」が非常勤職員を交えて、保育指針や、外部の講師による身近なテーマで勉強会を開き保育に反映させています。</p> <p>・社会福祉協議会や保育関連大学による外部研修で得た情報を、参加できなかった非常勤職員を含めた他の職員に、会議で報告を行い、内容をまとめた資料を出席職員に配付し、研修内容の共有に努めています。実技に関する内容は運動会、誕生会、製作に活用しています。</p> <p>・非常勤職員は常勤職員と同様の資質が求められ、指導担当の園長、副園長は常勤職員との組み合わせを配慮しています。非常勤職員はケース会議や月に1度のクラス会議に出席し、出勤日の朝のミーティングにも出席しています。その他事務室に掲げている職員メモに必ず目を通すなど常勤職員と同様の情報を共有しています。</p>

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-2 職員の技術の向上</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の自己評価は厚労省の「保育士のための自己評価チェックシート」をもとに半年ごとに実施し、保育所の自己評価はそれを基にし年に一度実施しています。</li> <li>・週案、月間、年間の各保育計画に評価・反省の欄を設け、計画や記録の様式は定型化されています。子どもたちの育ちや意欲・取り組み過程を重視して振り返りを行っています。</li> <li>・各クラスで当月指導計画の振り返りの評価反省を踏まえ、翌週の計画を立てています。月案については職員会議で話し合っています。</li> <li>・クラス会議や職員会議、第三者評価の取り組みの話し合いの中で、園としての課題を明らかにし検討するように努めています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帳票類の書き方や視点については園長・主任・副主任が指導されていますが「ねらい」「子どものすがた」「評価」について、記載方法が一部不十分な面が散見されました。書き方のさらなる指導が期待されます。</li> </ul>
<p><b>V-3 職員のモチベーションの維持</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員入職時に配布される保育運営マニュアルにそれぞれの職務の分担が表になり、期待水準と権限の委譲について明記されています。複数担任制や副園長、副主任の職務があり、権限の委譲も明記されています。職員の要望や提案について、年2度以上の話し合いを持ち、その中で、他園経験者の経験内容や、研修受講者の新情報など前向きな意見が提案されています。ほかに職員アンケートを通して意見を募り、担当者会議では意見を発表し、自由に提案できる体制ができています。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>VI-1 経営における社会的責任</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育運営マニュアルの「職員の心得」「保育の心得」の中に守るべき法規、規範、倫理が明記されています。マニュアルは入職時全職員に配布されオリエンテーションの中で説明し、全職員に周知しています。</li> <li>・他施設でのプール事故などの事案について話し合い、自園ではどうしているか、さらにどうすれば良いかなど必要な本の読合せをして園内研修を実施しています。</li> <li>・ごみの分別、減量化を行っています。ペットボトルのキャップ集めには職員、地域の方の協力を得ています。また保護者からの空き箱、ペットボトル、牛乳パックなどの廃材を集め製作に活用しています。</li> <li>・夏は緑のカーテンができるよう朝顔を植え、子どもに緑化について理解できるよう説明しています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務内容の公表は、インターネットの全社協の中の社会福祉法人ホームページ上で博栄福祉会の財務諸表として掲載されていますが、保護者、一般の人が簡単に見やすい園独自のホームページなどでの公表が望まれます。また、環境への取り組みについて園の運営方針として明文化されることが期待されます。</li> </ul>

<p><b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念や基本方針は各クラス内、廊下、事務所に掲示して誰でも目にして読むことができます。職員は入職時に詳細な説明を受け、毎朝のミーティングで職員全員が唱和しています。園長は職員会議やその他折に触れ説明したり、職員に質問して理解を促しています。</li> <li>・計画的な主任育成研修があり、それを受講し身につけた主任は、各会議でリーダーシップをとり、毎朝クラスを回り、安全面、職員の様子、子どもの様子を点検しています。また、職員個々への確かなアドバイスや指導・精神的なフォローも行っています。</li> </ul>
<p><b>VI-3 効率的な運営</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営に必要な情報は厚生労働省や神奈川県の情報や新聞やインターネットを通して得て、職員間で討議、分析しています。設置法人内理事会に園長、副園長が出席して情報交換を行っています。運営上の重要事項として、経費節減、感染症対応などの協議決定事項速はすやかに職員に伝え、取り組みとして実行しています。</li> <li>・3年および5年後の中期計画と15年後の長期計画を策定し、社会福祉法人に求められている説明責任やコンプライアンスの向上を常に図っています。</li> <li>・次代を担う幹部職員については副主任制度を取り入れ、園の実務を担うとともに、各種研修を受け、幹部職員としての知識の習得に努めています。</li> </ul>

# 利用者家族アンケート

施設名： 栗の実保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数70名、全保護者59世帯を対象とし、回答は40世帯からあり、回収率は68%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### 【特徴の記述】

### ◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、満足回答が 27%、どちらかと言えば満足回答が 53% で、総合満足度は80% でした。

### ◇ 評価の高かった項目（満足・どちらかと言えば満足の回答が90%を超えた項目）

- 1) 給食の献立内容
- 2) お子さんが給食を楽しんでいる
- 3) 基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み
- 4) お子さんの体調への気配り
- 5) お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気
- 6) あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいる

### ◇ 評価の低かった項目（満足・どちらかと言えば満足回答が75%以下の項目）

- 1) 年間の保育や行事に、保護者の要望が生かされているか
- 2) 子どもが戸外遊びを十分しているか
- 3) 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応
- 4) 話やすい雰囲気、態度であるかどうか
- 5) 意見や要望への対応



## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	25%	53%	12%	10%	0%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	74%	26%	0%	0%	0%	0%

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	53%	35%	5%	5%	2%	0%
その他:						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	35%	53%	5%	2%	5%	0%
その他:						
園の目標や方針についての説明には	35%	48%	10%	2%	5%	0%
その他:						
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	35%	55%	3%	2%	5%	0%
その他:						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	33%	52%	10%	0%	5%	0%
その他:						
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	35%	40%	15%	5%	3%	2%
その他:						

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	20%	65%	8%	5%	2%	0%
その他:						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	15%	50%	23%	10%	2%	0%
その他:						

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	50%	38%	12%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	30%	38%	15%	12%	5%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	30%	60%	2%	0%	8%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	43%	40%	15%	2%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	45%	40%	13%	2%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	30%	43%	20%	5%	2%	0%
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	45%	48%	5%	2%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	53%	40%	3%	0%	2%	2%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	58%	40%	0%	0%	2%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	50%	35%	8%	2%	5%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	50%	40%	2%	0%	8%	0%
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについては	45%	48%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	35%	35%	20%	2%	8%	0%
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	38%	47%	8%	7%	0%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	33%	60%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	40%	38%	17%	5%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	30%	58%	7%	5%	0%	0%
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	37%	53%	8%	2%	0%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	38%	50%	10%	0%	2%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	32%	58%	8%	2%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	28%	50%	17%	5%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	30%	60%	5%	3%	2%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	40%	38%	15%	7%	0%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	38%	40%	15%	5%	2%	0%
	その他:					

### 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	50%	40%	3%	5%	2%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	58%	35%	5%	0%	2%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	45%	33%	2%	2%	10%	8%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	43%	30%	15%	5%	7%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	38%	32%	20%	10%	0%	0%
	その他:					

### 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	27%	53%	10%	10%	0%

# 観察方式による利用者本人調査

## 栗の実保育園

### ◇0～5 歳合同朝の会

朝、調査員が園に伺うと、かなり手前から音楽が聞こえていました。園庭まで来ると、帽子をかぶった子ども達が音楽に合わせて運動しています。何人かの子どもが前に出てみんなに見えるように運動していました。週に3回合同での朝の会があり、今日は園庭でリズム運動の日だったのです。2階の園庭に面したベランダでは、つかまり立ちや歩きはじめた子ども達は柵につかまったり、職員に支えられながら、下を見下ろしながら、楽しそうに体をゆすったり職員に話しかけられたりしています。運動の後、園長先生の話がありました。「梅雨の時期ですね。今日、お散歩に出かける予定のクラスもあると聞いています。みんなお空をよく見てください。どんな雲の色かな?」「白い～」「灰色」「雲の色?空の色じゃないの」と言う子ども達。「そうですね。でも黒い雲がもくもく出てきたら雨になるかもしれませんね。雨だったらどうしようか?」「雨宿りする」「お散歩いけな～い」「えー 雨でも行きたい」など、様々な答えが返ってきます。

「お天気の状態で、お散歩は行けなくなるかもしれません」と予定変更になるかもしれないことを園長が話しています。「みんな、よく覚えておいてね。お話はお耳に入れたら、片方のお耳から出しちゃだめですね。みんなの頭の中に入れておいてね。筆筒の引き出しにしまっておいてね。」「えー 頭の中に筆筒があるの?」「引きだしにいれるってどういうこと?」「はい、覚えてます」「わすれちゃう」などとにぎやかでした。

### ◇0 歳クラス

#### 遊び

引出しの中から職員がおもちゃを取り出しています。穴にはめこむ立体パズルや柔らかい素材の積み木が出てきます。引出しにつかまって、自分でお気に入りを取り出そうとしている子もいます。「これがいいね。これにしよう」と職員が出して手渡すと嬉しそうです。同じ種類のおもちゃでそれぞれが遊んでいても、違う友だちがやっていると、そちらに興味を持ち、手を出したり、一緒に触ったり、友だちのものをとったりしています。「今はAちゃんがやっているね。Bちゃんも同じものだよ。Bちゃん上手にできるかな」と職員に言われて、自分が使っていたものでまた遊び始めます。「上手上手、うまくできたね」と褒められ、得意そうです。転がしてみたり、お互いに交換したりもしていました。

#### 排泄

遊んでいる途中「Cちゃん、なんかおしりが重そうだね。ちょっと見てみよう」と職員が声をかけています。「おむつ替えようね、いちにのさん」と言いながら、手早くおむつ交換をしていました。

「Dちゃんはどうかな」と他の子どもに声掛けします。「おむつ見ようね」「濡れてないから大丈夫だね。ズボンはどうね」職員に自然に対応してもらい、子ども達は機嫌よく過ごしていました。

### ◇1 歳クラス

#### 朝のご挨拶（同室の0歳クラス【低い柵で区切られています】も参加）

机のまわりの椅子に皆が腰かけています。0歳児はラックや椅子に腰かけたり、職員に抱っこされたりしています。1歳クラスの職員がキーボードを取り出し、皆で歌い始めました。手遊び歌が始まると0歳の子どもたちも、1歳クラスのお友だちを見ながら、一緒になって手をたたかさせたりしています。0歳の子ども達に職員も話しかけたり、「上手上手」と言う嬉しそうです。出席をとるため、一人一人の名前を職員が呼び「はい」と返事をすると、「元気がいいね」「あれー、今日は声が小さいかな」と話しかけられると恥ずかしそうにしたり嬉しそうにしたりし

ています。0歳の子ども達も名前を呼ばれて手をあげたり、のびあがったりすると「上手、上手」と職員たちに言われて、ますます嬉しそうです。

## 散歩

近隣の芹沢公園にバギー2台に分乗して出かけます。0歳クラスの歩きはじめた子ども達も数人一緒に行くことになりました。芹沢公園は自然を活かしたスペースや運動や、遊具があるスペースなど広大な公園です。ターゲットバードゴルフ（ゲームスポーツ）を楽しんでいる高齢者たちに職員が大きな声であいさつしています。子ども達も手を振ったりしています。

高齢の方がたは近くまで寄ってきて「おはよう、おはよう」「かわいいねえ。元気だね」「何して遊ぶのかな」などと盛んに話しかけてくれます。子ども達もここにこしていました。今日遊ぶところはロープジャングル（遊具）があるスペースです。バギーから降りてもらって、皆、思い思いにロープジャングルに近づいたり足をかけてのぼる仕草をしたり、砂を触ったり、草をじっと見たりし始めました。「何かいる？」と職員に聞かれて指差しています。「蟻さんかな。なんか虫がいたかな」近くにいた子も近づいてきました。「ちいさい蟻」「蟻だ」職員が「へえーよく見つけたね。蟻さんだ。他にもいるかな」一緒にしゃがみ込んで一生懸命探し始めました。

0歳の子ども達はシートを敷いてもらって、そのうえに座らせてもらっています。近くの石や草を触ったり、ロープジャングルのまわりにいる子ども達を見たりしています。そちらに向かって手を伸ばすと職員が「〇ちゃん、行ってみたいの？行こうか」と、両手を引いて歩きはじめました。「ゆっくり、ゆっくり、上手に歩けるようになったね」ロープジャングルまで来て、職員にだっこされながら高いところにつかまらせてもらおうと、得意そうに伸び上っていました。

## ◇2歳クラス

### 食事

今日は4,5歳クラスが「クッキング」で作ったメニューのカレーです。職員が「今日は、ぞうさんクラスきりんさんクラスが一生懸命作ってくれたカレーです。きっとおいしいね」と説明しています。子ども達は、「おいしいよ」「カレーだいすき」と大喜び。調査員にも「たくさん食べてね」と言ってくれます。職員は「お皿を持って食べようね」「△君、もうちょっと、体をまっすぐにして食べましょう」と、マナーの注意もしています。食が細く、食べるのにも時間がかかっていた子どもに「最後まで頑張ってくれて良く食べたね。えらかったね」と職員に声を掛けられると、うれしそうにうなずいていました。

## ◇3歳クラス

### 食事（クッキング保育～食事）

今日のメニューは先程4,5歳児が仕上げたカレーライスと野菜の蒸し物、クラスで作ったフルーチェです。三角巾とエプロンで身支度をして、カレーに入れるジャガ芋、人参、玉ねぎをクラスの皆で洗い、年長さんに渡しています。フルーチェは牛乳を入れて皆でかき混ぜています。職員が小さな果物鉢に盛り分けています。ご飯は花形に盛られ、上から職員がカレーをかけました。テーブルに直接主食、野菜、デザート、コップ、スプーンを置いて年長さんの配膳が終わるまで待ちます。年長のお当番の掛け声で一斉に3～5歳児が「いただきます。」

食事中、「やさいをあらうとき、じゃがいもがおおきかったよね」「にんじんもだよ」「きょうはみそしるがないね」「フルーチェに、ぎゅうにゅうをいれたの」「めっちゃおいしい」調査員に「おかわりしてもいいよ」と会話が弾んでいます。

### 排泄

3歳児は1階2階両方のトイレを使用しています。

揃って使用する時は2階に行きます。2階のトイレはドア付きで大きい子どもの羞恥心に配慮されたものと、直接小さな便器が置かれたドアがないものと2種類が設置され、子どもは自由に使用しています。午睡の後など自分で行きたいと思う時は1階のトイレを使用します。

使用後シャツがズボンからはみ出た子どもに、職員は優しく声をかけ、できないところを補助しています。

#### ◇4歳クラス

##### クッキング保育

今日はカレーを作っています。3歳児さんが洗ってくれた野菜を切って水と一緒に鍋で煮込みます。大きなしゃもじで順番にお鍋の中をかき回します。職員の「野菜の次は何を入れようか」の問いかけにある子どもが「にく」と答え、「では肉を入れます」と職員。「色が変わるまで煮るのよ」肉の色が変わるまで、職員と一緒に子どもたちがあくを取り、順番に全員で一かけずつカレールーをポトンポトンと入れていきます。その間職員はガス火の調整をして、安全に気をつけています。最後に職員がブーケガルニを取り出し、子どもたちに回して名前とにおいを子ども一人一人が体験して確認しています。ブーケガルニが入ると、それぞれが小さな手を合わせて「おいしくなりますように」とお祈りをしました。

調理を見ていた3歳児さんから「おいしそうだね。おなかすいたー。」の意見が出て園長が「今日は早めにお昼にしましょう。」と。11時半頃の昼食となりました。

クッキングが終了しクラスに戻る前、職員が感想を子どもたちに尋ねると、「たまねぎをきるときこわかった」「うん、ツルツルしたよね」「たいへんだったよ」と口々に伝えていました。

##### 排泄

4, 5歳児が一斉にトイレを使用するときは、廊下に沿って座り、順番を待ちます。職員が最後の一人が終わるまで、出入り口で見守ります。済んだ子どもによってはスリッパを揃ええないで履き捨てる子どもがいますが、何人かの子どもは皆の分まできれいに揃えています。

#### ◇5歳クラス

##### 自由時間

今日の活動の「七夕飾り」の製作をしています。机の上で、折り紙を折ってハサミで切り込みを入れ、キラキラ光る紙を小さく切ってノリで貼り付け、きれいな飾りを製作しています。出来上がった子どもから折りたたみ式の絵本を長く伸ばして遊びコーナーを作り、おままごと、ブロック、お絵かき、とやりたいことをやっています。

##### 午睡

食事後歯磨きを終えた子どもから自分の布団を戸棚から出し、自ら敷いて寝る支度をします。トイレを済ませ、パジャマに着替え、好きな絵本を読みます。全員揃ったらごろごろして眠りにつきます。オルゴールのCDが静かに流れています。カーテンを開けながらの「おはよう」の職員の声で子どもたちは目を覚まします。眠たげな顔の子どもはいますが、ぐずる子どもはいません。自分の布団をたたんで袋にしまい、着替えやトイレをすませます。

## 第三者評価を受審して

今回 2 度目の第三者評価受審でしたが、前回受審した時とは保育内容や職員体制が少し変わっていたので、今の保育を見直すとても良い機会となりました。

日々、より良い保育を目指し運営マニュアルの改善や全職員が「死を招いた保育」を読むなど行ってきた成果もあり、前回同様とても良い評価をいただくことが出来、感謝しております。

今回の評価結果は職員にとっても励みとなり保育への自信につながるともに、普段の何気ない行動が第三者の目から見ていただくことで改善すべき点もあるということを職員一同気づきのきっかけとなり、個々の反省材料として生かしていきたいと考えております。

また、保護者の方のアンケートの結果につきましても、園の方針、保育内容を十分ご理解していただけない面もあり今後はこの点につきましてもこれまで以上に保護者の皆さまにご理解いただけるよう努めると共に、「共に育て、共に育ち、共に喜ぶ」という保育方針のとおり利用者、職員、地域の方々と共によりよい施設作りを目指し努力していきたいと思っております。

栗の実保育園 園長 江成 玲子